



Fields™

Gaming and Entertainment

フィールズ株式会社

証券コード：2767

2010年3月期

株主通信(中間)

2009.4.1 ● 2009.9.30

すべての人に最高の余暇を



VOICE & VISION
V & V

会長メッセージ

VOICE & VISION
V & V

FIELDSTM
Gaming and Entertainment

フィールズ株式会社
証券コード：2767

2010年3月期
株主通信(中間)
2009.4.1 ● 2009.9.30

Contents

- 01 会長メッセージ
- 02 2010年3月期 上半期のご報告
- 08 企業の社会的責任(CSR)への取り組み
- 09 フィールズグループのご紹介
- 10 コーポレートデータ
- 11 株式情報
- 12 IRコミュニティ
- 13 第三者によるフィールズの分析レポート



すべての人に最高の余暇を

The Greatest Leisure for All People

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来「すべての人に最高の余暇を」という企業理念を掲げてきました。私たちの社名「フィールズ」には、その志を同じくする者が社内外の別なく集まれる場をつくるとの想いが込められています。1988年の設立からの10年で、最良のパチンコホールの在り方を探求する中、私たちは独立系の流通企業という強みを活かして、遊技機流通のオープン化に貢献し、パチンコ・パチスロ業界に健全化をもたらしたと自負しています。

その後の10年は、コンテンツの重要性をいち早く予見し、数々の有力メーカーと提携して積極的な企画開発を行ってきました。その背景には、事業活動を通じて業界の発展と健全化に貢献したいとの強い想いがありました。このため、私たちは遊技機の価値を射幸性から魅力的なコンテンツへとシフトさせ、感動と興奮を盛り込んだ“Gaming & Entertainment”の実現に注力しました。

そして、21世紀の成熟化する日本社会において、人々の余暇時間は確実に増加し、これからもその傾向は続くものと認知されています。私たちはこの社会に対して、新たなエンタテ

ィメントを有する企業としての来るべき飛躍に向けて、着実に歩みを進めています。パチンコ・パチスロ事業では、従来の利益に加え新たな利益機会の創出を図るための成長戦略を押し進めています。また、多彩な専門分野を担う企業やパートナーとのコラボレーションにより、一次コンテンツの創出と、そのマルチユース展開に尽力するとともに、長期的な将来への布石として、新たなエンタテインメントの創造に向けた仕組み・仕掛けの確立を図っています。

そう遠くない将来、新鮮な感動や驚きが体験できるエンタテインメント性に優れたフィールドが創造され、そこに新たなファンが多数参加されると考えています。「すべての人に最高の余暇を」の実現に向けて、その新たなフィールドでリーダーシップを担うこと、これが私たちの持つ使命です。それは同時に当社の成長、余暇市場全体の発展、そして社会全体の幸せに寄与する道程でもあると考えています。私たちはこのビジョンの実現に向けて全社一丸となって邁進していきます。

株主の皆様におかれましては、当社グループのさらなる進化にご期待頂き、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2009年12月

山本英俊

代表取締役会長(CEO)

山本 英俊



代表取締役社長 (COO)
大屋 高志

大屋 高志

2010年3月期 上半期のご報告

来るべき 未来に向けて

はじめに

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

本株主通信では、株主の皆様にご理解頂くため、2010年3月期上半期の業績のご報告はもとより、当社の考え方、将来展望をお伝えしています。是非とも、ご一読頂けますと幸いです。

まず、当社が事業を展開する「余暇」をキーワードに社会全体を見てみますと、21世紀の成熟化する日本社会では人々の余暇時間は確実に増加しており、これからもその傾向は続くものと考えられています。そして、人々はより豊かな人生を歩むために、それぞれの嗜好により多様な時間消費ニーズを生み出しています。

それに対して、企業理念である「すべての人に最高の余暇を」に賛同する者の集まりである私たちフィールズは、多様な時間消費ニーズを満たす最高の商品やサービスを提供するために、人々の生活や環境等の変化を研究、分析、予測し、そこからビジネスチャンスを見い出しているのです。

現在の国内余暇市場は約72.8兆円の規模を誇り、その約30%をパチンコ・パチスロ市場が占めています。私たちは、この市場が多くの人々の幸せに寄与できると考えており、コンテンツの重要性をいち早く予見することで、全国のパチンコホールやファンが求めるエンタテインメント性の高い遊技機を企画・開発し、提供してきました。このように、業界最大手の流通企業という強みを発揮しつつ、常に「次」を意識する私たちの取り組みは、今までも、そしてこれからも間違いなく市場を発展の方向へと導いていくと考えています。

設立から20年、私たちは絶えず新しいことに挑戦してきましたが、根底にあるこのような姿勢は不変でありましたし、5年後、10年後も同様です。未来の人々にとって有意義なパチンコエンタテインメントを創造する企業、これが私たちフィールズであると確信しています。

決算の概要

2010年3月期上半期の業績は以下の通りです。

(百万円)

	2009年3月期		2010年3月期	
	上半期	通期	上半期	通期計画
売上高	41,590	73,035	21,444	70,000
営業利益	3,252	1,960	5,386	10,000
経常利益	3,023	991	5,051	10,000
当期純利益	845	△1,481	2,181	4,500
連結従業員数(名)	1,118	827	873	—

セグメントの変更

グループ事業のポートフォリオ再構築の一環として、2010年3月期より、セグメント区分を変更しています。

2009年3月期 第4四半期	2010年3月期 第1四半期
PS・フィールド	PS・フィールド
ゲーム・フィールド	
スポーツ・フィールド	スポーツエンタテインメント・フィールド
映像・フィールド	
Webサービス・フィールド	モバイル・フィールド
その他・フィールド	その他・フィールド

セグメントの状況

(百万円)

	売上高		営業利益	
	2009年3月期*	2010年3月期	2009年3月期*	2010年3月期
	上半期	上半期	上半期	上半期
PS・フィールド	34,957	19,415	5,569	5,407
スポーツエンタテインメント・フィールド	1,977	1,181	△342	△162
モバイル・フィールド	736	991	227	247
ゲーム・フィールド	4,127	—	△1,619	—
その他・フィールド	66	259	△596	△17
消去または全社	△274	△403	14	△89

*2009年3月期は、組み替え後の参考数値を表記しています。

2010年3月期 上半期の業績について

では、連結業績の概要をご報告いたします。

2010年3月期の上半期につきましては、特に収益面におきまして、当初の計画を上回り推移し、売上高は214億円、営業利益は53億円、経常利益は50億円、四半期純利益は21億円となりました。

続きまして、セグメント別の営業の概況をご報告いたします。

当社の中核事業であるPS（パチンコ・パチスロ）・フィールドにおいては、当上半期にパチンコ・パチスロ遊技機合わせて3タイトルを発売しました。中でも本年4月に発売した「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」の販売が好調に推移したことにより、総販売台数は約27万台となりました。

スポーツエンタテインメント・フィールド(旧称:スポーツ・フィールド)は、当上半期はスポーツビジネス全般の抜本的な見直しの効果が現れるとともに、ソリューション事業の「トータル・ワークアウト」では、新たな商品プログラムの企画開発等のサービス品質向上施策を進めました。

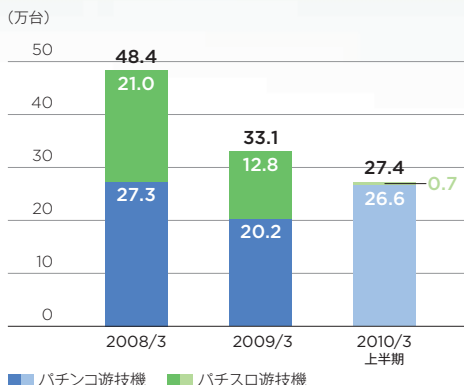
モバイル・フィールド(旧称:Webサービス・フィールド)は、当上半期は主力携帯コンテンツである「フィールズモバイル」の有料会員数の増加に向けた施策を図る一方、携帯コンテンツの既存提供サービスの携帯キャリア拡充やEコマース事業での拡販等、活発な事業展開を行いました。

その他・フィールドは、当上半期にアニメーションの企画・制作及びプロデュースを目的としたルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株)が、PS・フィールドとのアニメーションコアティアップを図るグループシナジー事業に積極的に関与しました。

以上のような取り組みにより、上半期については、順調に推移したと評価しています。

screen 02

パチンコ・パチスロ遊技機の販売台数推移



パチンコ遊技機

上半期発売済みタイトル

CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～

*総販売元として「CR昭和伝説三波春夫」(銀座)を販売

第3四半期発売予定タイトル

CR料理の鉄人

パチスロ遊技機

上半期発売済みタイトル

**エースをねらえ!
サタデーナイトフィーバー**

第3四半期発売予定タイトル

**I am KONISHIKI
炎の熱血教師**

2010年3月期 通期見通し及び中期経営計画について

通期の見通しにつきましては、パチンコ・パチスロ事業におきまして、多くのファンの皆様に喜んで頂ける人気タイトルを中心としたパチスロ遊技機、そして、中期経営計画のマイルストーンと位置づけている新機軸タイトル第2弾のパチンコ遊技機等の販売を予定しています。

現在のパチンコ遊技機の企画開発は、以前に比して2倍以上の期間を要しており、市場のニーズを満たすためにはそれだけのクオリティが求められます。このため、企画を練り込み、創り込みに注力した結果、上半期は1機種の販売となりましたが、下半期には本年4月の組織変更やグループシナジー効果等もあり商品ラインナップが整ってきます。

一方、グループ事業では、各社ともさらなる利益改善に向けたフレームワークの構築を図り、連単倍率1.0以上を目指しています。

このような取り組みを推進することにより、通期の連結業績につきましては、売上高700億円、営業利益100億円、経常利益100億円、当期純利益45億円を見込んでいます。また、1株当たり年間配当金は4,500円を計画しています。

screen 04

中期経営計画のマイルストーン

2010年 3月期	新機軸タイトルシリーズ化 ・下半期発売予定
2011年 3月期	PS強力ラインナップ 京楽産業.(株) 提携商品第一弾投入
2012年 3月期	京楽産業.(株) 提携商品2本体制

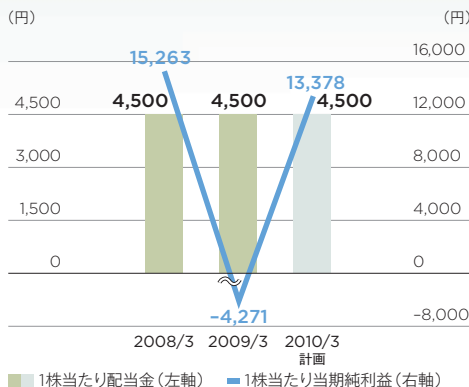


2014年3月期営業利益
250億円以上目標

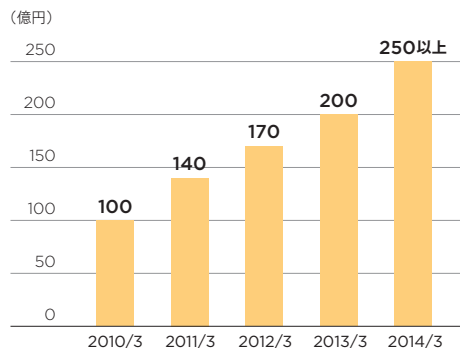
※グループ・協業利益20%寄与目標

screen 03

1株当たり配当金／1株当たり当期純利益



中期経営計画の営業利益目標



さらにその先、当社は推進中の中期経営計画において2014年3月期の営業利益目標を250億円以上と定めています。この目標に向けて、パチンコ・パチスロ事業では、新機軸タイトルのシリーズ化や京楽産業.(株)との提携商品の投入等のマイルストーンを着実に実行することはもとより、世の中の人々の幸せに貢献できるパチンコエンタテインメントの創出を担っていきます。また、グループ事業では、将来の収益基盤となるグループ内での映像コンテンツのマルチユースを確実に実現することによって、パチンコ・パチスロ事業とグループ事業の連動による強みを最大限発揮していきます。

最後になりますが、私たちフィールズは、冒頭にてご説明した「すべての人に最高の余暇を」に賛同する者がその実現に向けて真っ向から取り組んでいる、熱い思いを持った企業グループです。拡大する余暇に対して今あるエンタテインメントをより価値のあるものに進化させること、そして来るべき未来に向けて新たなエンタテインメントを創り出し、世の中の人々に有意義な時間を提供すること、これらの使命を果たすべく、事業に邁進しています。

株主の皆様におかれましては、これらの当社の将来に向けた取り組みにご理解頂き、引き続き一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



FAQ

パチンコ・パチスロ事業におけるビジネスモデルは？

A. 私たちのビジネスモデルは、一般的な流通企業としての機能である遊技機販売機能に加え、良質な商品化権を取得し、提携メーカーへ商品企画を提供する機能があります。また、この商品企画に基づいて開発・製造された遊技機を当社が総販売元として販売するという特徴があります。

この独自のビジネスモデルによって、当社にしか創り出せないエンタテインメント性の高い遊技機を提供できることが当社の強みです。そしてこの強みの源泉となるのが、パチンコ・パチスロにおけるコンテンツの重要性をいち早く予見して培った、コンテンツの調査・研究・取得ノウハウとなっています。

遊技機販売における収益構造、計上方法は？

A. 当社が総販売元として販売した遊技機は、主にパチンコ遊技機とパチスロ遊技機によって収益構造が異なります。

パチンコ遊技機は、当社が提携メーカーの販売代行店としてパチンコホールに販売し、提携メーカーから代行手数料を得ています。このため、売上高の計上は、遊技機納品の翌月となっています。

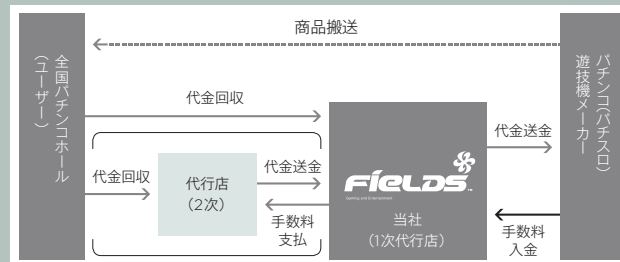
一方、パチスロ遊技機は、当社が遊技機メーカーから遊技機を仕入れ、パチンコホールに販売することにより遊技機代金を得ています。このため、売上高の計上は、遊技機の販売(出荷)時点となっています。

利益還元方針は？

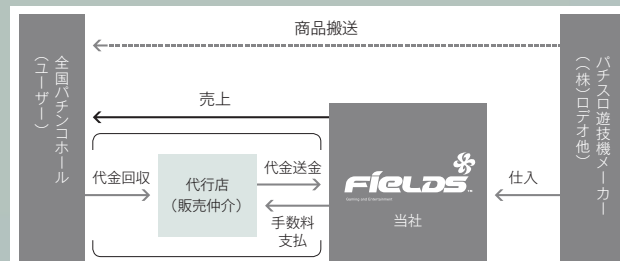
A. 株主の皆様へは、安定した配当をもって還元していく方針です。また、連結配当性向は20%を最低限の指標とし、2010年3月期の1株当たり配当金は、中間配当金2,000円を決議しており、期末配当金2,500円、年間配当金4,500円を予定しています。これにより、連結配当性向は33%となる見込みです。

今後については、機動的な事業投資のための一定の内部留保も必要だと考えていますが、より多くの利益を得られれば増配も検討していきます。なお、投資については、外部からの調達ではなくフリー・キャッシュ・フローの範囲で行うことを基本方針としています。

代行店販売



代理店販売



企業の社会的責任(CSR)への取り組み

CSRへの基本的な考え方

フィールズは、企業活動そのものがCSRであるべきだと考えています。人々の生活や人生を豊かにするエンタテインメントを提供し、より多くの人を楽しんで頂く、これが当社の存続する意義だと考えています。

現在、当社はパチンコ・パチスロを一つの柱として事業を行っています。この業界についてあまり良い印象をお持ちでない方もいます。しかしパチンコ・パチスロ産業は、国内余暇市場72.8兆円の中で約30%を占める非常に大きな市場であり、高いポテンシャルを秘めていることは事実です。ならばこれをエンタテインメント性豊かな健全な市場にしよう、というのが我々の考え方です。

私たちは企業理念である「すべての人に最高の余暇を」に賛同する者の集まりです。当社は現在、事業強化に伴い積極的に人材強化を図っています。社内外問わず知恵を結集し、企業理念を実現させるために全力で邁進し、社会に貢献していきたいと考えています。

企業行動規範を制定

当社は、2008年6月に企業行動規範を制定、同年10月には全従業員に携帯可能な企業行動規範ハンドブックを配布し、企業行動規範に定める行動の指針を日常業務や日々の行動に活かすべく取り組みを進めています。

当社は、「すべての人に最高の余暇を」提供することを企業理念として掲げ、この理念の基に企業価値を持続的に高めていくことを経営の基本方針としています。この経営の基本方針に基づく事業活動の遂行にあたっては、企業の社会的責任を果たしていくことが、当社並びに当社グループの企業価値向上につながるものであることを認識し、あらゆる事業活動の場において企業行動規範に定めるすべての事項を遵守していきます。

主要な取り組み (2009年9月30日現在)

内部統制	さらなる成長に向けた経営の仕組みづくりの展開
品質マネジメント	「ISO9001:2000」の認証を更新
情報セキュリティマネジメント	「ISO27001:2005」の認証を更新
社会貢献活動	チャリティゴルフトーナメントを主催し、収益金2,340万円を「千葉県こども病院」、「日本白血病研究基金」、「(財)がんの子供を守る会」に寄付

社会貢献活動トピックス

当社は、CSR活動の一環として、深刻化する地球温暖化対策として京都議定書で定められた日本の温室効果ガスの排出量削減目標の実現に向けた積極的な取り組みを開始しました。

国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に参加するとともに、営業部門においても2010年3月までに現在使用している営業車209台のうち120台、2012年6月までに209台すべてを環境への負担が低いエコカーへ切替えていきます。この切替えにより、スギ1本当りの年間CO₂吸収量約3万本分に相当する年間480t(従来比:33%減)のCO₂削減を見込んでいます。

* スギの1本当り年間CO₂吸収量:約14kg(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省、林野庁資料)



名古屋支店に導入したエコカー

フィールズグループのご紹介

「すべての人の未来を変える」

(株)フューチャースコープの事業と未来

(株)フューチャースコープは、「すべての人に最高の余暇を」の実現を目指すフィールズグループのモバイル事業を担い、携帯電話のコンテンツ配信サービスを中核事業としています。そして来るべき携帯電話のハイグレード化に伴い姿を変えるデジタルコンテンツにビジネスチャンスを見出し、新たな時代を見据えた事業展開を推進しています。

コンテンツ価値の最大化を可能とする卓越した企画力と販売促進力を有する当社は、これらの強みとフィールズが持つ優良コンテンツを融合させたサービス「フィールズモバイル」を運営しています。このサービスでは、有料会員の獲得だけにとどまらず、生活に密着したモバイルというフィールドでの新たなパチンコ・パチスロファンの創出・育成等の実績を積み重ねるとともに、有力なパートナー企業と連携し、生活を豊かにするサービスの開発・提供を行っています。

このような中、当社が社会的役割を果たすためには、既存のサービスのみならず、時代を先取りしたサービスの提供がますます重要になってくると考えています。今、モバイルの世界は転機を目前にしています。遠からずパソコン等との垣根は取り払われ、モバイルの可能性はますます大きくなるでしょう。新たなエンタテインメントの創出を目指すフィールズグループにおいて私たちが果たすべき役割は、グループ間や有力なパートナー



<http://www.futurescope.jp/>

企業との様々な連携により時代を先取りしたサービスを提供し、モバイル分野におけるサービスプロバイダーのリーディングカンパニーになることです。そして、コンテンツの創出を通じてフューチャースコープそのもののブランド力を磨き、「すべての人の未来を変える」企業として世の中の人の幸せに寄与していきたいと考えています。



(株)フューチャースコープ

代表取締役社長
富永 政雄

会社概要

社名： (株)フューチャースコープ
設立： 2006年10月
資本金： 60百万円
主要株主： フィールズ(株) (出資比率：83.3%)

社名の由来

私たちの社名「フューチャースコープ」は、私たちの提供するサービスを通じて、もっと楽しい、もっと便利な未来を感じてほしいとの想いを込めてつけたものです。

コーポレートデータ (2009年9月30日現在)

会社概要

商号	フィールズ株式会社 (英文社名: FIELDS CORPORATION)
企業理念	「すべての人に最高の余暇を」
設立	1988年6月
本社所在地	〒150-0044 東京都渋谷区円山町3番6号 E・スペースタワー
事業内容	1. 遊技機の企画開発 2. 遊技機の仕入、販売 3. キャラクター、コンテンツの企画開発、販売 4. 映像ソフトの企画開発、販売
資本金	7,948百万円
従業員数	873名(連結)
連結対象会社	フィールズジュニア(株) 新日テクノロジー(株) イルデル(株) (株)EXPRESS ジャパン・スポーツ・マーケティング(株) JSM HAWAII, LLC ハルキ・フィールズシネマファンド (株)フューチャースコープ ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株) 他2社

役員

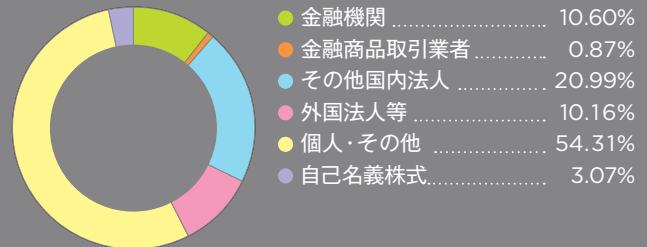
代表取締役会長	山本 英俊
代表取締役社長	大屋 高志
専務取締役(グループ戦略本部長)	繁松 徹也
専務取締役(営業本部・開発本部管掌)	秋山 清晴
社外取締役	糸井 重里
取締役(企画本部長)	栗原 正和
取締役(知的財産本部長)	山口 善輝
取締役(計画管理本部長)	山中 裕之
取締役(コーポレート本部長)	伊藤 英雄
取締役(営業本部長)	藤井 晶
取締役(会長室長)	末永 徹
社外監査役 常勤	松下 滋
社外監査役	小池 敕夫
社外監査役	古田 善香
社外監査役	中元 紘一郎
執行役員(コーポレートコミュニケーション室長)	畑中 英昭
執行役員(開発本部長)	藤島 輝男
執行役員(営業本部支店統括部長 兼 北海道・東北支社長 兼 東京支社長)	若園 秀夫
執行役員(グループ戦略本部グループ 関連事業部長 兼 エグゼクティブプロデューサー)	小澤 洋介
執行役員(コーポレートコミュニケーション室 担当部長)	糟谷 総一

株式情報 (2009年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数	1,388,000株
発行済株式総数	347,000株
自己名義株式	10,643株
株主数	9,853名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
山本英俊	86,750	25.00
(株)SANKYO	52,050	15.00
山本剛史	36,128	10.41
(有)ミント	16,000	4.61
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	12,987	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	10,647	3.07
大屋高志	4,500	1.30
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	4,402	1.27
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	3,521	1.02
日興シティ信託銀行(株)(投信口)	2,650	0.76

* 当社所有の自己名義株式は除いています。

全国3都市で個人投資家向け会社説明会を開催

当社は、個人投資家の皆様に向けたIR活動の一環として、会社説明会(協力:モーニングスター(株))を開催しています。今秋は福岡・大阪・東京の3都市で実施し、760名を超える個人投資家の皆様にご参加頂きました。

説明会では大屋社長から当社のマーケットポジションや事業戦略、今後の成長戦略についてプレゼンテーションを行うとともに、皆様からも積極的なご質問、忌憚のないご意見を頂きました。

今後も、個人投資家の皆様とのコミュニケーションの機会を積極的に設け、当社への理解の促進に努めていきます。



9月18日	福岡会場(天神ビル)	来場者:約180名
9月30日	大阪会場(ホテルコムズ大阪)	来場者:約260名
10月2日	東京会場(東京証券会館)	来場者:約320名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行(株)
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行(株)証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行(株)の全国各支店並びに日本証券代行(株)の本店及び全国各支店で行っております。
(電話照会先)	
上場証券取引所	JASDAQ
公告方法	電子公告 URL http://www.fields.biz (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

株式関連手続きのご案内

住所変更、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはウェブサイトをご利用下さい。

- 電話(通話料無料)
☎ 0120-87-2031
(24時間受付:自動音声案内)
- ウェブサイト
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

フィールズは、大きな固定資産を持たずにキャッシュを生む独自のビジネスモデルを有する企業です。短期的には、同社の株価は経済の動向や大型タイトルの投入に対する期待感等に影響されますが、その真の企業価値は、タイトルの投入時期の変化に大きく左右されない将来キャッシュ・フローの現在価値にあります。長期的な成長は、パチンコ・パチスロ市場の動向にもよりますが、市場が比較的安定的に推移すると想定すると、ビジネスモデル・戦略・執行力が今後の鍵を握るだろうと考えています。

上场後年数を経たおらず、収益の変動が大きいことを考慮しても、フィールズは成長企業であると私は判断しています。フィールズの事業ポートフォリオの変遷を分析すると、パチンコ・パチスロ市場の変動をうまく捉えながら、一貫して上位メーカーと提携を行い、着実に事業領域の拡大を続けてきたことがわかります。フィールズが提携企業と安定的な関係を構築し、ヒットタイトルを提供してきた実績から考えると、前述の「執行力」に関するリスクは低いと言えます。市場シェアを伸ばすために、メーカー各社は開発期間を短期化し、新規タイトルを打ち出していかなければなりません。フィールズはこうしたメーカーのニーズに応えるサービスを提供していることから、提携企業と共に市場シェアを拡大していくと考えられます。

パチンコ・パチスロ市場は成熟市場であると考えられており、過去のデータのみを見ればその通りであると言わざるをえません。しかし、人口や社会の構造の変化が今後日本において余暇時間の増加をもたらすことを考慮すると、エンタテインメント市場自体は拡大傾向にあります。パチンコ産業は、こうした市場拡大の好機を捉えるためにも、変革していく必要があります。そして、ベンチャー精神あふれるフィールズのような企業には、成長するエンタテインメント市場の先頭に立ち、ぜひ新しいアプローチで市場を開拓して欲しいと思っています。

またフィールズには、その中核事業であるパチンコ・パチスロと、エンタテインメントにおける優れたマーケティング力とを組み合わせた新規ビジネスにおいても、成長の機会があると思います。例えばモバイル事業では、パチンコ事業におけるフィールズの専門性を活用しつつ(例:パチンコシミュレーションの提供)、さらに一般ユーザー向けに裾野を広げています。

フィールズの財務状況の安定性はもっと注目を集めていいと思います。在庫が少なく、巨額な投資資金を必要としない強い財務体質を有しているということは、投資家に対して「安全性」を提供するものであり、さらに、事業成長から得るキャッシュ・フローが株主に還元されることも示しています。

第三者による フィールズの分析レポート

(株)シェアードリサーチ
代表取締役
ジュラヴリョフ・オレグ



ジュラヴリョフ・オレグ
(Oleg Zuravljov)

エストニア出身。
1998年来日し、フィデリティ投
信(株)、ガートモア・アセットマ
ネジメント(株)でのアナリスト及
びポートフォリオ・マネジャーの経
験を活かし、2009年に(株)シェ
アードリサーチを設立、代表取
締役を務める。

(株)シェアードリサーチについて • Web上のwiki型の日本企業分析サイトを運営し、同サイトで顧客企業の詳細分析サービスを提供。 <http://www.sharedresearch.jp/>



Gaming and Entertainment

www.fields.biz

すべての人に最高の余暇を

／ 企業理念への想い

VOICE

社会をもっと豊かに幸せにするためには、世の中の人にとって価値のある余暇が必要であると考えています。そして、その実現に向けて挑戦する企業を社会は求めており、それがフィールズであると確信しています。

「すべての人に最高の余暇を」。この企業理念は、社会に貢献する企業の姿勢を明確に示すとともに、私たちの決して変わる事のない想いを伝えています。遠くない未来、私たちフィールズが成し遂げる成果にご期待頂き、引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

文・表紙文字=代表取締役社長(COO) 大屋 高志

IRお問い合わせ先

フィールズ株式会社
コーポレートコミュニケーション室 IR課
Tel: 03-5784-2111
Mail: ir@fields.biz



古紙100%再生紙

地球の未来と生まれてくる子供たちのために、
古紙100%再生紙をより身近なものに。